

和歌山県有田市

多世代で取り組むまちづくり



【活動の基本情報】

参加学生数:5名

(1年生:2名、2年生:1名、4年生:2名)

活動期間:2023年6月~2025年1月

担当教員:永瀬節治

1. 活動実施の経緯

有田市箕島地区では、平成29年度より有田市社会福祉協議会や箕島地区の地域活動団体と連携しながら、多世代交流を通じた地域活性化に向けた活動に取り組んでいる。コロナ禍となった令和2年度からはオンラインによる交流機会の創出やワークショップなどに取り組み、令和4年からはそれらの成果を活かし、現地でのスマホ講座をはじめとした多世代交流、地域コミュニティの活性化に関する活動を行なっている。

2. 活動の内容

昨年度から引き続き、有田市社会福祉協議会や公民館等との連携により、高齢者を対象に、日々の生活に役立つスマートフォンの使い方を楽しみながら学んでもらう「スマホ講座」の企画運営に取り組んだ。また、有田市内で防災教育に取り組むマモッチャクラブとの連携による防災イベント「あそぼうさい」の企画運営にも取り組み、地元の小中学生やご家族の方々にご参加いただきながら、防災グッズの展示や手作り体験等を実施した。学生たちも防災に関する知識や認識を深めるとともに、地域の方々と交流する貴重な機会となった。また有田市社会福祉協議会が主催する地域づくりに関するワークショップにも参加し、地域の方々の意見を引き出すための工夫についても学ぶ機会となった。

3. 活動を通じて

今年度は継続して参加する4回生2名によるフォロー体制のもと、新たに加わった2回生1名と1回生2名による活動となった。これまでの経験を活かしながら、SNSや現地での関係者との円滑なコミュニケーションを図り、多世代交流を軸にした密度の高い活動に取り組むことができた。最終年度のため本テーマによるLPPの活動は一区切りとなるが、新たな活動の可能性について、地域の関係者と意見交換を行い検討する予定である。

4. 成果ポスター

有田箕島LPP

27151035荻野明穂 27151117宮坂真菜美
T2310090松井遼介
T2410077橋本幸 T2410078橋本怜奈

有田市箕島とは？

有田市は和歌山県北西部に位置しており、人口は約2.7万人です。有田みかんの産地として有名であり、その他にも太刀魚やしらす、なれずしなども特産品です。

スマホ講座

一昨年から開催している箕島地区に住む高齢者を対象としたスマホ講座を今年度も実施しました。このスマホ講座の目的は、高齢者が学生とともにスマートフォンの使い方を楽しみながら学び、日常生活において有意義に活用してもらうことです。今年度のスマホ講座も好評であり、参加者からは今後の継続を期待する声も上がりました。



あそぼうさい

12/7に有田市で活動するマモツチャクラブと防災イベントを開催しました。楽しく防災について学び、備えてもらうことを目的としています。非常食やペットボトルランプの展示、新聞紙で作ることができるグッズなど、様々なブースに分かれて災害時に役立つことを学んでもらうことができました。小学生だけではなく家族で来てくれる人やお年寄りなど、想定より多くの人に楽しんでいただけました。



今年度の振り返り

今年度は昨年度に比べ5人での活動になりました。昨年度に比べ人数が増えたことで活動にメンバー全員が参加できることも少なくなかったです。しかし、次の会議で情報共有から始めるなど、メンバー間での情報共有はよくできていたと感じています。

ワークショップ（1/26開催）

今年度のLPP自主企画として提案したワークショップです。今年度は有田市社会福祉協議会の主催するワークショップに同席させていただき、アイスペイクや住民の方の意見を引き出す役割などでお手伝いすることになりました。

4. 2024 年度合同活動報告会の実施

2) 発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

和歌山県有田市箕島

テーマ: 多世代で取り組むまちづくり

● 報告について

報告では、今年度の活動であるスマホ講座、あそぼうさいについて話した。また、ワークショップに関しての報告は開催途中であったため第一回のみ説明となった。今年度はICT講習、防災イベント、ワークショップとテーマを絞った活動ではなく様々な活動を行った。各活動の詳細についての報告を通じて好意的な意見を頂けただけでなく、地域の活動団体に興味を持った学生もいたようだった。

● 質疑応答

Q. あそぼうさいにて協働したマモッチャクラブとはどんな団体なのか。

A. 防災士の資格を持つ有田市の主婦の方々によって構成された団体であり、去年の活動でも力を貸していただいている。

Q. 来年度以降の活動はどうするのか。

A. 来年度以降はワークショップを通じテーマを考え直すとお伝えしましたが、防災に注力した活動に変わる予定である。